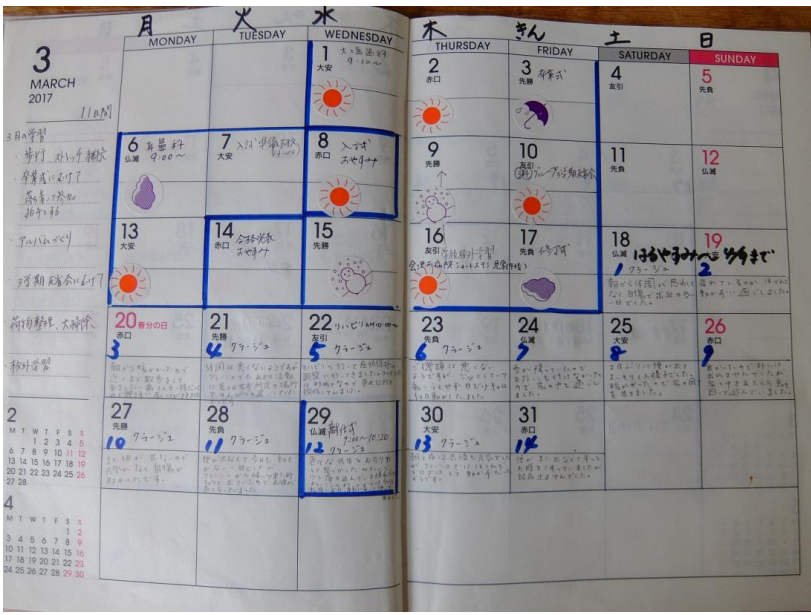


教材・支援機器活用実践事例

【生徒に関する予定を保護者と共有し、連携した支援を行う事例】

	実施年度	平成28年度
授業について	教科名等	その他（家庭との連携）
	単元・題材名	本人・保護者とのスケジュール帳
	（授業における） 教師のねらい	○生徒に関する予定を保護者と共有することができる。
	授業における 子どもの目標	
子どもについて	学級・学校・学年	特別支援学校（知的） 高等部 2学年
	対象の障がい	知的障がい
	授業の形態	
学習上又は 生活上の困難さ	子どもの特性や 教育的ニーズ	
教材 ・支援機器活用	使用した支援機器 ・教材の名称	
	活用のねらい	○学校の予定を伝えるとともに、病院の定期通院や施設の利用予定などを保護者に記入してもらい、予定が重ならないように調整でき、本人との予定確認ができるようにする。
（授業における） 支援・教材の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各月の主な予定はあらかじめ記入しておく。 ○長期休みには、家庭での生活の様子について簡単に記入してもらい、休み中の生活の様子について把握できるようにする。 ○登校後は、天気シールを貼る活動を取り入れ、生徒もノートづくりに参加し、家庭では保護者と予定確認をし、学校では教師と予定を確認できるようにした。 	
（子どもの変容や） 評価	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の予定を知ることができたことで、計画的に学習を行うことができた。 ○学校の予定をあらかじめ知らせたことで、大きな行事などの際は、通院の予定をずらしてもらったことで、本人が学習の見通しを持ちやすくなった。 	